

第15回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時

平成24年6月1日(金) 午前10時00分～午前11時00分

2. 場 所

箕面市役所 委員会室

3. 出席者

(会 長)

- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

- ・箕面市地域創造部長 広瀬幸平
- ・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦

(監 事)

- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀
- ・箕面商工会議所専務理事 松出末生

(委 員)

- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山哲
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
(代理出席) 牧野直子
- ・粟生第二住宅自治会防犯防災交通部長 浜本俊二
- ・分科会の副分科会長 井上整
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
(代理出席) 総務部長代理 松井作男
- ・株式会社ジェット管理本部長 横山吉広
- ・東急不動産SCマネジメント株式会社箕面マーケットパークイワ総支配人 友金聡
- ・株式会社ヒールコート・ヒールワールド箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(総務企画) 南条正幸
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官(輸送) 黒田唯雄
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 森岡武一
(代理出席) 都市交通課課長補佐 進士肇
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 西村修一
- ・箕面市みどりまちづくり部長 山田学
- ・大阪府箕面警察署交通課長 秋田潤一
- ・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
- ・箕面市教育委員会事務局教育次長 中井勝次
- ・箕面市地域創造部活力推進室長 河原弘明

- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 浪越祐介（オブザーバー）

（欠 席）

- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 勝 正雄
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課長 福田貴夫
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・箕面市市長政策室長 具田利男
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 阪部光雄（オブザーバー）

以上、委員 31 名のうち 25 名出席、オブザーバー 2 名のうち 1 名欠席。

4. 議 題

- (1) 規約等の改正について
- (2) 実証運行の状況について
- (3) 平成 23 年度事業報告及び収支決算について
- (4) 本格運行に向けた取り組みについて
- (5) その他

5. 議事要旨

- (1) 規約等の改正について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (2) 実証運行の状況について

- (3) 平成 23 年度事業報告及び収支決算について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○様々な利用促進で、最も効果的であったと考えられる方策を教えてください。

→ボールペンの配布キャンペーンと収入増の時期が一致している。また、ルートや運行ダイヤ等について、積極的な情報提供を図った結果、市民のみなさまにオレンジゆずるバスが定着してきたことも利用増につながっているのではないかと。

○回数券の収支は、販売日で計算されているのか。乗車日で計算されているのか。

→販売日で計算している。

○バスロケーションシステムについて、携帯からアクセス数が 4,369 件/日、PCからのアクセス数が 22,369 件/日というのは間違いないか。

→確認しておく。

○監査報告書をふまえると、平成 25 年度は交付金がなくなり、かなり厳しい経営状況になると考えられる。平成 24 年度の前半については、まず利用促進に力を注ぎ、8 月以降は、来年度の本格運行に向けた検討を進めていただきたい。

→承知した。

○国からの補助については、社会資本整備総合交付金も含め、全て無くなるのか。

→3年間の実証運行ということで補助を受けていたので、一切無くなるものと考えている。

○持続的な運行に向けて、新たな助成制度の活用も模索していただきたい。

→承知した。

○国が主催する地域公共交通確保維持改善事業等第三者評価委員会では、箕面市の取り組みが高く評価されていた。今後は、現在利用していない地域住民の意向などの分析を進めていただきたい。

→承知した。

(4) 本格運行に向けた取り組みについて

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○平成24年度については、軽微な見直しは行わないのか。

→前回の協議会で決定したとおり、軽微な見直しは行わない。

(5) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○「ばすいく」の活用方法を教えていただきたい。

→単に利用者数を増やすのではなく、市民のみなさまの生活を意識した利用促進につながる情報発信の場としていきたい。

○ルート別の時刻表は、どこで入手できるのか。

→多くの方に見ていただけるよう、市役所、市立病院、図書館等の他、バス車内にも置いている。

○オレンジゆずるバスについて、より多くの方に考えていただけるよう、「みのおの交通を考える会」では、「オレンジゆずるバスいろいろ発表会」を6/17(日)の14:00から開催する。ぜひ、ご参加いただきたい。

○オレンジゆずるバスを“動く公共施設”として、市民からの情報発信に使えるようにしていただきたい。

→オレンジゆずるバスを活用した情報発信方法を考えていきたい。また、協議会でも協議させていただきたい。

○サイネージの設置については、運営経費の確保が課題となっている。大阪府では、民間機関に協力いただき、千里中央駅のサイネージを試験設置しているので、みなさまにも確認していただきたい。

○箕面市でもサイネージを設置しているが、費用と効果の関係を評価するのは難しい。大阪府の取り組み結果を参考にしながら、検討を進めていただきたい。

→承知した。

○今後の協議会予定について、お教えいただきたい。

→次回の協議会は、8月ごろを予定している。

以上